

令和4年度 東御市当初予算の概要

1 予算の概要

令和4年度一般会計予算は、コロナ禍の影響などによる厳しい歳入の状況を見込むなか、基金からの繰入れにより財源を確保し、第2次東御市総合計画に位置づけた事業を推進するための予算を編成しました。

予算額の前年度比較では、令和元年台風第19号に係る災害復旧事業費が9億5,449万円減少したことなどにより、7億5,600万円（5.0%）の減となりました。

歳入については、地方財政計画に基づき、臨時財政対策債の減額を見込んだ一方で、地方譲与税および地方交付税については増額を見込み計上しました。

歳出については、一般財源枠配分方式（各部課が配分された財源の範囲内で予算編成を行う手法）の採用と事務事業の見直し等により、経常経費の抑制に努めるとともに、継続事業や重点施策について精査し計上しました。

2 一般会計および特別会計、公営企業会計の会計別予算額

一般会計および特別会計、公営企業会計の会計別予算額は下記のとおりです。

(1) 一般会計および特別会計

（単位：千円、%）

会 計 名 称	令和4年度		令和3年度		比較増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
一 般 会 計	14,422,000	68.0	15,178,000	69.8	△ 756,000	△ 5.0
国民健康保険特別会計	3,270,000	15.4	3,100,000	14.3	170,000	5.5
介護保険特別会計	2,959,000	13.9	2,904,000	13.4	55,000	1.9
地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計		0.0	622	0.0	△ 622	皆減
後期高齢者医療特別会計	412,300	1.9	368,500	1.7	43,800	11.9
湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計	160,571	0.8	189,303	0.9	△ 28,732	△ 15.2
特別会計合計	6,801,871	32.0	6,562,425	30.2	239,446	3.6
総 額	21,223,871	100.0	21,740,425	100.0	△ 516,554	△ 2.4

(2) 公営企業会計

(単位：千円、%)

会計名	区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
水道事業会計	収益的支出	648,267	643,715	4,552	0.7
	資本的支出	457,171	426,238	30,933	7.3
	計	1,105,438	1,069,953	35,485	3.3
下水道事業会計	収益的支出	1,360,540	1,367,345	△ 6,805	△ 0.5
	資本的支出	1,573,511	1,250,196	323,315	25.9
	計	2,934,051	2,617,541	316,510	12.1
病院事業会計	収益的支出	1,944,054	1,936,362	7,692	0.4
	資本的支出	545,105	259,170	285,935	110.3
	計	2,489,159	2,195,532	293,627	13.4

3 一般会計歳入および歳出の特徴

一般会計歳入および歳出の特徴は以下のとおりです。

なお、より詳しい内容については、別冊「予算に関する説明資料」をご参照ください。

(1) 歳入

歳入は、金額の大きいものから順に地方交付税が43億円、市税が38億8,369万円、国県支出金が24億4,355万円となっています。

主な歳入では、市債のうち臨時財政対策債で4億8,900万円の減を見込んだ一方で、市税で2億5,072万円の増、地方交付税で2億9,800万円の増を見込みました。

また、災害復旧事業費に係る補助金などの減少により、国県支出金で6億9,073万円の減となりました。

(2) 歳出

歳出は、金額の大きいものから順に民生費が45億5,854万円、総務費が23億3,975万円、公債費が18億1,924万円となっています。

主な歳出では、土木費で道路、橋梁等修繕事業費2億5,600万円を計上したことにより1億2,083万円の増、農林水産業費で御堂地区ワイン振興施設整備事業費1億468万円を計上したことにより1億324万円の増、消防費で防災ラジオ緊急告知システム整備委託料1億1,070万円を計上したことにより6,202万円の増となりました。

※1および3の文章中の金額は、万円未満を四捨五入しています。

お問い合わせ先

総務部総務課財政係

(電話) 0268-64-5901

(ファクシミリ) 0268-63-5431

(メール) zaisei@city.tomi.lg.jp